

平成29年定期総会議案書

日 時：平成29年7月8日（土）

午後13時15分～午後13時45分

場 所：こうべまちづくり会館3F

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第1号議案「平成28年度（第13期）事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成28年度（第13期）会計監査報告」

第3号議案「平成29年度（第14期）事業計画案および会計予算案」

第4号議案「任期満了による役員改選案に関する事項」

議長解任

閉会のことば

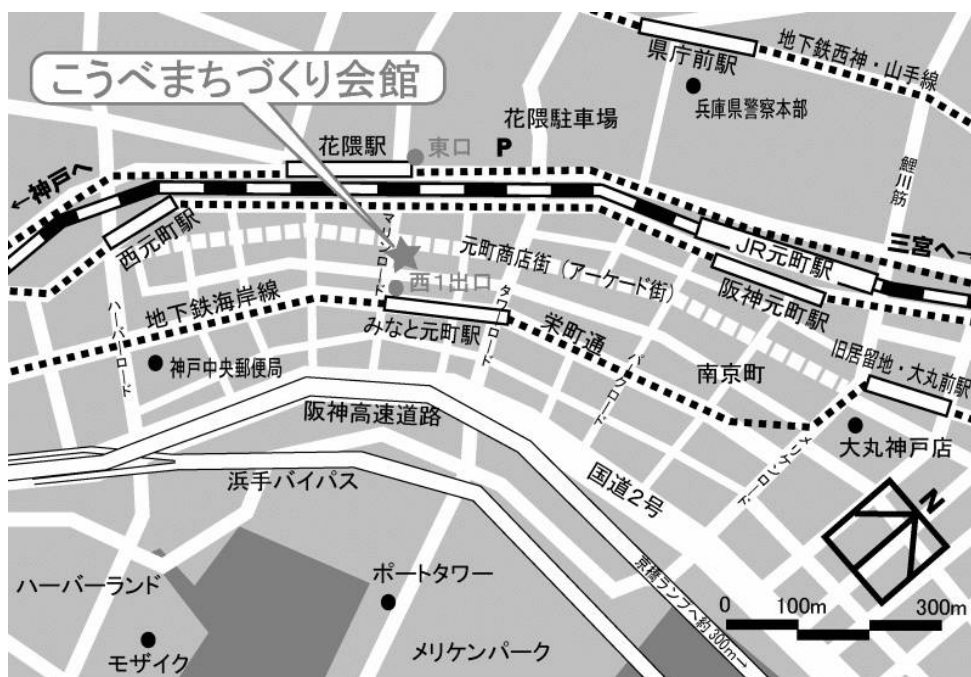
引き続き14時から、第48回研修会を開催します。

講演者 阪口伸六氏（大阪府高石市 市長）

「ピンチはチャンス！防災力ナンバーワンのまちづくり」

14：00～16：30 講演および質疑応答

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会



神戸市中央区元町通4丁目2番14号（元町商店街4丁目西端の南側角）

TEL : (078)361-4523 <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速 「花隈駅」東口から南へ3分 「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神 「元町駅」西口から西へ8分

※駐車場はありませんので、車で来館の場合は市営花隈駐車場（徒歩5分・有料）等をご利用ください。

【第1号議案】「平成28年度（第13期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

活動は、①WG活動の実施、②研修会、③出前授業・出前講習会の活動を中心に行いました。

① WG活動の実施

ボランティアな組織であるNPOは、会員のWG活動で成り立っています。WG活動の状況は、ホームページ (<http://toshisaigai.net/katudou.html>) によって、会員および一般市民に情報発信するようにしています。議事録等がアップロードされ更新された情報については、メーリングリスト (owner-toshisaigai-ml@toshisaigai.net) で会員に逐次お知らせするようにしています。現在各WGで活動する方々が重複しているため、WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で、旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。

② 研修会

本年度は、第43回『東日本大震災の初動と実際』（池口正晃氏）、第44回『防災ゲームEVAG』（眞弓孝之氏）、第45回『新たなステージに対応した防災・減災の推進について』（多々納裕一教授）、第46回『阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえた教訓と今後の備え』（坂井康人氏）を実施しました。研修会は、会員のみならず、一般聴講者も受け入れています。

③ 出前授業・出前講習会等

出前講習は、4月の向井通彦顧問の防災担当行政職員向け特別講演「まちぐるみで取り組む防災・減災」や、伊藤東洋雄理事長の「東日本大震災の復興支援報告」、片瀬範雄理事の「クロスロードゲーム」などを実施しました。また、4月に発生した熊本地震を受け、阪神淡路まちづくり支援機構が専門士業ワンパック住民相談会を企画され、太田英将理事が技術士として参加しました。

個別の活動記録を、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成 28 年度）

定款の 事業名	事業内容	実施日	場所	従事 者数	受益対象 者の範囲 及び人数
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	防災担当行政職員向け特別講演 「まちぐるみで取り組む防災・減災」 講師：前大阪府泉南市長 向井通 彦氏	平成 28 年 4 月 20 日	奈良県 産業会 館	1 名	行政職員 18 名、 一般 12 名
災害予防・災 害発生後の 対策提案	専門士業熊本ワンバック住民相談 会（阪神淡路まちづくり支援機構） へ太田英将理事を派遣（南阿蘇 村・西原村・益城町・御船町）	平成 28 年 6 月 10 日 ～12 日	熊本県	1 名	住民から の相談 61 件
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	第 43 回研修会 防災講演会『東日 本大震災の初動と実際』講 師：滋 賀県土木交通部技監 池口 正晃 氏	平成 28 年 6 月 26 日	読売新 聞大阪 本社 「ギャラ ーよみう り」	1 名	会員・一 般聴講者 45 名
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	第 44 回研修会 防災講演会『防災 ゲーム EVAG』講師：国土防災技 術 眞弓孝之氏	平成 28 年 7 月 9 日	こうべま ちづくり 会館	1 名	会員・一 般聴講者 20 名
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	第 45 回 防災講演会『新たなステ ージに対応した防災・減災の推進 について～水防災意識社会の再 構築～』講師：多々納裕一先生 （京都大学防災研究所社会防災 部門 教授）	平成 28 年 10 月 15 日	ドーンセ ンター	1 名	会員・一 般聴講 者 29 名
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	東日本大震災の下水道支援報告 「東日本大震災の復興支援報告－ 気仙沼市下水道課での 2 年間－」 講師 伊藤東洋雄理事長	平成 28 年 11 月 12 日	大阪市 下水道 科学館	1 名	49 名
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	第 4 回 王寺町泉の広場避難訓練 『クロスロードゲーム 講師：片瀬範 雄理事 主催：王寺町『泉の広場』 避難所運営委員会	平成 28 年 11 月 27 日	王寺町 泉の広 場 2F 会議室	2 名	42 名
防災・減災対 策の研究およ び啓蒙活動	第 46 回防災講演会『阪神・淡路 大震災、東日本大震災を踏まえた 教訓と今後の備え』講 師：阪神高 速道路株式会社 神戸管理部保 全管理課 課長 坂井康人氏	平成 29 年 2 月 4 日	ドーンセ ンター	1 名	会員・一 般聴講者 25 名

平成 28 年度（第 13 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	会費・入会金収入	255,000	215,000	-40,000	会費 34 名、入会 4 名
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,617,935	2,617,935	0	
	雑収入	20	2	-18	利息
	収入合計	2,872,955	2,832,937	-40,018	

	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	305,000	206,838	-98,162	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	10,000	3,264	-6,736	WG 活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	5,000	0	-5,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	230,000	183,270	-46,730	研修会等
	会場借用料	30,000	30,240	240	
	印刷費等	130,000	56,165	-73,835	防災講演会カラー資料印刷
	講師旅費	60,000	90,000	30,000	会員外の講師旅費
	通信費	10,000	6,865	-3,135	メール便送料
	その他	0	0	0	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	30,000	0	-30,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	20,304	304	プロバダ [®] 料金等
	ウェブサイト費用	20,000	20,304	304	
	管理費	95,000	72,080	-22,920	
	会議費	10,000	23,824	13,824	
	旅費交通費	10,000	0	-10,000	
	備品等整備費	30,000	0	-30,000	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手続料	30,000	40,380	10,380	登記費用
	交際費	0	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	10,000	7,876	-2,124	事務諸費用
予備費	0	0	0		
支出合計	400,000	278,918	-121,082		
(単年度収支)	▲ 144,980	▲ 63,916			
当期収支差額（次年度繰越金）	2,472,955	2,554,019	81,064		

【第2号議案】「平成28年度（第13期）会計監査報告」

平成28年度（第13期） NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

平成28年度（第13期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

私たち会計監査は、平成28年度（第13期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記


1. 監査実施日時 平成29年 5月 29日

2. 監査帳簿類 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳

平成29年 5月 29日

監事 北 高穂 印

平成29年 5月 29日

監事 山田信祐 印

【第3号議案】「平成29年度（第14期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、例年の活動に加えて大阪府立高専で防災工学の講義を行うことになりました（下半期）。また、発災後の活動も開始します。

特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

概ね3回程度研修会を開催したいと思います。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

2.発災後活動の開始

昨年度、発災後活動に関するアンケートを実施しました。本年度からは、災害発生直後に可能な限り現地に乗り込み、技術者の会であることがわかるようにビブスを着用して活動をする予定です。

3.メールングリスト・ニューズレターの活用

即時性を重視し、WEBとメールングリストによる情報発信形態を主に用います。ニューズレターは、会員からの投稿を中心に作成し、できるだけ刊行頻度の向上を目指します。

4.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として行っていきます。

【社会に向けた活動】

1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。本年度は、すでに、大阪府立高専の防災工学の講義（下半期）が決定しています。

2.WEB等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメールングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。また、ニューズレターだけでなく紙のパンフレットを作成して広報に努めます。

3.市民からの相談に答える

WEBに相談窓口を設け、WGメンバーが中心となって一般市民からの相談事にも対応していきます。『家を買う前に、土地を買う前に読む本WEB版』も徐々に公開していきます。

4.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

平成 29 年度（第 14 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収入	会費・入会金収入	215,000	225,000	正会員 34、賛助 1、新入会員 3
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	2,617,935	2,554,019	
	雑収入	2	2	利息
	収入合計	2,832,937	2,779,021	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支出	事業費	206,838	280,000	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	3,264	10,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	30,000	ビブス 20 セット程度
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	183,270	200,000	研修会等
	会場借用料	30,240	30,000	
	印刷費等	56,165	60,000	防災講演会カー資料印刷
	講師謝礼旅費	90,000	100,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	6,865	10,000	会員へのメール便送料
	その他	0	0	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,304	20,000	
	ウェブサイト費用	20,304	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	72,080	125,000	
	会議費	23,824	10,000	
	旅費交通費	0	10,000	旅費
	備品等整備費	0	30,000	封筒代、パンフレット代
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	40,380	60,000	決算登記費用（役員改選）
	交際費	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	7,876	10,000	事務諸費用
	予備費	0	0	
支出合計	278,918	405,000		
(単年度収支)	▲ 63,916	▲ 179,998	単年度収入-支出	
当期収支差額（次年度繰越金）	2,554,019	2,374,021		

【第4号議案】任期満了による役員改選案に関する事項

任期満了に伴う役員の改選を以下の通り提案いたします。なお、理事定員にはまだ余裕があるため、総会当日までに役員が増員になる可能性があります。

新役員名簿

役職名	氏名	就任期間	新任	留任
理事	伊藤東洋雄	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
理事	片瀬範雄	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
理事	石川浩次	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
理事	廣野一道	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
理事	太田英将	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
理事5名（留任5名）				
監事	山田信祐	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
監事	北 高穂	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日		○
監事2名（留任2名）				

定款より

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に正会員の中から次の役員を置く。

(1)理事 3人以上10人以下

(2)監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸張する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	伊藤 東洋雄 (理事長) 石川 浩次 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 廣野 一道 太田 英将 (事務局長兼務)	監事	山田信祐 北 高穂
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
防災教育WG (WG-A)	まちづくり・教育を考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。WG-Dと合同で活動を行います。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体(自主防災組織や防災団体など)と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。